

事業報告

(平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで)

1 当法人の現況に関する事業

(1) 事業の経過およびその成果

事業別	予算額	決算額	達成率
育英奨学事業	101,379,300 円	91,549,159 円	90.3%
学術研究助成事業	15,113,940 円	14,593,442 円	96.6%
資料館庭園管理運営事業	22,667,760 円	17,625,899 円	77.8%

(注)事業費配賦割合に応じて各費用を算出しており、貸与奨学金を含んでいる。

(2) 固定資産増減の状況

① 設備投資

重要な固定資産の除却

郷土資料館「敬山閣」(昭和 50 年建設)が老朽化し、展示スペースも手狭になったため新資料館の建設を前提として解体した。

(3) 直前事業年度の財産および状況

区 分	平成 23 年度	平成 24 年度 (当該事業年度)
経常収益	135,129,956 円	150,616,122 円
評価損益等調整前当期経常増減額	22,760,101 円	37,547,907 円
当期経常増減額	△98,261,898 円	245,597,967 円
正味財産期末残高	4,154,344,456 円	4,403,175,812 円

(4)主な事業内容

事業	主要な事業の内容
育英奨学事業	奨学金の無利子貸与および一部返還免除 奨学生集会の開催
学術研究等助成事業	自然科学の研究に対する助成 自然環境保護活動に対する助成
資料館庭園管理運営事業	郷土資料館の運営 庭園・山林・遊歩道を整備し自然に親しめる環境を整える

(5)従たる事務所の状況

名称	所在地	事業内容
東京事務所	港区新橋 5-6-4-701	首都圏の大学への当会事業の告知 収益事業に供する集合住宅の管理

(6)重要な契約に関する事項

契約年月日	相手方	契約金額	契約期間	契約の概要
平成 24.6.15	(株)NIPPO	162 百万円	H24 年 6 月～25 年 5 月	資料館の新築工事

(7)収益事業に関する事項

集合住宅名称	所在地	建物内容	入居者数	管理会社
コーポ順	東京都世田谷区	鉄筋 4 階建 771.03 m ²	16 名	(株)日立不動産

(8)常勤役員および職員に関する事項

職名等	氏名	就任年月日	担当職務
常務理事	山崎 壽浩	平成 7.6.5	事務局総轄
管理部長	原 久晴	昭和 61.4.7	本部事務・会計・資料館管理
書記	荒井 能弘	平成 22.9.1	奨学金・研究助成金・庭園管理
書記	渡部 夕子	平成 2.4.1	東京事務所の事務・資料館管理
備員	山口 広美	平成 13.2.20	建物内管理・事務所庶務

(9)役員会等に関する事項

①理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成 24.5.31	平成 23 年度事業報告・決算書類の承認の件	承認
”	第 1 回定時評議員会招集決定の件	可決
”	平成 24 年度新規採用奨学生選考の件	可決
”	平成 24 年度学術研究助成の件	可決
”	平成 24 年度自然環境保護活動助成の件	可決
平成 25.3.28	平成 25 年度事業計画・予算書類の承認の件	承認

②評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成 24.6.21	平成 23 年度事業報告の内容報告について	了承
”	平成 23 年度事業報告・決算書類の承認の件	承認

(10)株式を保有している場合の概要

企業名	保有株式数	保有割合	入手経過	企業との関係
JXホールディングス	3,656,190 株	0.1 %	寄付受入	取引なし
北越メタル	278,000 株	1.4 %	寄付受入	取引なし

(11)対処すべき課題

無利息貸与奨学金の返還が当初計画のとおりに行われない者の数が年毎に増加している。本人に事情を聴取したり連帯保証人に返還指導を願ったり返還計画の順延を認めたりして対応している。

2 役員等に関する事項

(1) 理事

役職名	氏名	任期	勤務状態	報酬等	備考
理事長	山口敬太郎	2年	非常勤	規程による	
常務理事	山崎 壽浩	2年	常 勤	〃	
理 事	三角 哲生	2年	非常勤	〃	二階堂学園理事長
〃	松木 道夫	2年	〃	〃	
〃	森地 茂	2年	〃	〃	
〃	若杉 敬明	2年	〃	〃	

(2) 監 事

役職名	氏名	任期	勤務状態	報酬等	備考
監 事	一色 誠一	2年	非常勤	規程による	JX日鉱日石E代表
〃	高橋 實	2年	非常勤	〃	

(3) 評議員

役職名	氏名	任期	勤務状態	報酬等	備考
評議員	江中八洲彦	4年	非常勤	規程による	
〃	西尾 進路	4年	〃	〃	
〃	古瀬 裕	4年	〃	〃	選考委員兼務
〃	福壽 道夫	4年	〃	〃	
〃	丸山 武	4年	〃	〃	
〃	佐藤 浩治	4年	〃	〃	
〃	高橋 清逸	4年	〃	〃	
〃	林 久	4年	〃	〃	
〃	岩野 宏	4年	〃	〃	

(4) 役員等の報酬

区分	人数	報酬等の総額	備考
理 事	6名	2,591千円	
監 事	2名	66千円	
評議員	9名	199千円	
合 計	17名	2,857千円	

(注)理事の報酬等の額には常務理事の報酬は含まれていない。

事業報告の附属明細書

1. 事業に関する記載事項

(1) 育英奨学事業について

奨学金貸与人数

種 別	継続奨学生	新規採用奨学生	奨学金貸与者合計
大学院生	1名	6名	7名
大学生	44名	17名	61名
留学生	11名	1名	12名
合 計	56名	24名	80名

奨学金返還者数

種 別	貸与奨学金返還者
大学院生	28名
大学生	161名
短大生	5名
高専生	5名
高校生	8名
留学生	51名
合 計	258名

奨学生集会

奨学生の研修指導の目的をもって、8月29日～30日（1泊2日）の日程で開催した。来賓による講演会や、森林の役割を理解するために森林散策および箸づくり体験を実施した。宿舎では奨学生の懇談会を実施した。

内容は次のとおりである。

参加学生 33名

実施内容

1 日目	全国各地より本部に集合
	【奨学事業についての理解】
	役・職員との懇談と学生の近況報告
	後藤 晋氏（東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授）講演会 演題 「厳しい環境に樹木はどう適応しているのか？」
	郷土資料館の見学・庭園・遊歩道の散策
	奨学生の懇談会
2 日目	【環境保護活動への理解】
	杉林の下草刈り、間伐作業の体験（雨天のため山林の散策）
	柳田 宏光氏（小千谷市議会議員）講演会 演題 「山口庭園の植物について」
	木材加工体験 「My 箸づくり」
	JR 長岡駅へ移動～解散

奨学生集会参加者には貸与奨学金年額のうち、2 か月分の返還を免除した。

その他

奨学生機関誌「山びこ」45 号を刊行し、奨学生および元奨学生に配布した。

(2) 学術研究助成事業について

研究助成

指定校に研究テーマを委嘱して推薦を受けたうちから、次の研究に対して各 800,000 円を限度とし、総額 10,400,000 円の助成金を交付した。

1. 東京大学大学院理学系研究科 教授 赤坂 甲治
研究題目 アリールスルファターゼ遺伝病の発症機構の解明
2. 東京大学大学院理学系研究科附属植物園 准教授 館野 正樹
研究題目 樹木側枝の形態形成にかかる力学的・コスト的規範に関する研究
3. 東京大学大学院農学生命科学研究科 助教 藤原 章雄
研究題目 地域住民参加によるフットパス設定および整備手法の開発、およびフットパスがもたらす森林の保健休養機能の評価

4. 新潟大学工学部 助教 落合 秋人
研究題目 米糠タンパク質由来新規チロシナーゼ阻害ペプチドの探索と化粧品素材への応用
5. 新潟大学工学部 教授 谷口 正之
研究題目 米由来ベータアミロイド産生酵素阻害成分の精製とその反応機構の解析（継続）
6. 長岡技術科学大学 教授 小野 浩司
研究題目 光反応性高分子液晶への多光束偏光干渉露光法による高度光配向制御による光学異方性フォトニック構造創成
7. 長岡技術科学大学 准教授 太田 浩之
研究題目 ローラガイドのキャリッジドリフトの発生機構
8. 新潟工科大学 教授 田村 良一
研究題目 耐震化促進に向けた建築物の動的耐震性能評価に関する研究
9. 新潟工科大学 教授 竹園 恵
研究題目 泡沫を利用した環境調和型界面活性剤の生産
10. 長岡工業高等専門学校 教授 坂井 俊彦
研究題目 色素増感太陽電池への有機正孔輸送剤導入の効果（全固体化への試み）
11. 長岡工業高等専門学校 准教授 村上 祐貴
研究題目 拘束圧に基づく腐食損傷を受けた鉄筋コンクリートの付着性能評価手法の構築
12. 國學院大學 教授 青木 豊
研究題目 自然史系博物館の総合的研究
13. 東京大学東洋文化研究所 教授 羽田 正
研究題目 新しい学問を考える会

自然環境保護活動助成

自然環境保護活動に取り組む団体に対して総額 3,000,000 円の助成金を交付した。

1. 新潟大学 野生動物研究会 担当者 石庭 寛子
活動名 新潟県の水田地帯における希少鳥類の保全と人との共生を目指す調査活動
2. 新潟大学公認同好会 いきものサークルふかみどり 担当者 佐藤 雄大
活動名 コキクガシラコウモリにおける生態の解明およびコウモリを題材とした環境教育活動の実践
3. 東京大学大学院理学系研究科附属植物園 担当者 邑田 仁
活動名 植物園で行う関東地域の自然環境保護のための希少植物の生息域外保全
4. 東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林 担当者 後藤 晋
活動名 癒し効果と燃材生産の両立を目指した森林の管理と教育
5. 財団法人 日本互尊社 担当者 原 和彦
活動名 日本互尊社庭園整備事業

(3) 郷土資料館管理運営事業について

郷土資料館「敬山閣」が老朽化したので解体し新資料館の建設に着手した。

資料を整理および引き続き蒐集展示し、地元小・中学生や県内外の歴史探訪の団体・個人その他一般の見学者の観覧に供した。

資料館見学者名簿記帳者 402 名

資料館に付随する回遊式日本庭園と自然林散策のための遊歩道の新設工事と整備を行った。